

あびらD51

高橋優奈・干場光紅・石田康起

ステーション

名前の由来

かつて「鉄道の町」として栄えた安平町の歴史を象徴する「D51320」、「キハ183」などを展示しているためこの名前になった

特徴

苫小牧から岩見沢までたった1つの道の駅
春から秋には動くSLを見ることができる
駅をモデルにした建物の形になっている
北海道で124番目の道の駅



道の駅の施設

特産品コーナー テイクアウトコーナー 農産物直売コーナー
ベーカリーコーナー レガシーギャラリー 無料休憩コーナー
鉄道資料館 24時間トイレ 電気自動車用EVステーション



行ってみて分かったこと

特産品、ベーカリーコーナーなど、全部で9カ所の施設がある。

パンは20種類以上あり、菜の花など安平町のものを使った焼きたてパンが並んでいる。

入り口から入って右側には、安平町のことをよく知られるパンフレットがおいてある。

道の駅には、鉄道資料館があり、「D51 320」そして、「キハ183系」などを展示している。春から秋にかけて動いているSLも見られる。

SL 倉庫

特産品コーナー



レガシーギャラリー

